

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic Written English II		
英文授業科目名	Academic Written English II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	真砂 久晃		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<p>【主題および達成目標】</p> <p>1. 前学期に引き続き、様々な書き方を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> * しっかりした構成で論点の明確なエッセイを書く。 * 要約文を書く。 * 経験したことを書く。 * 物事を描写して書く。 * レポート（報告文）を書く。 * ストーリー（物語）を書く。 * 説明文を書く。 <p>2. 前学期に引き続き、自主的に読んだり書いたりする態度を身につけ、書きことばとしての英語に自信をつける</p> <ul style="list-style-type: none"> * AWEIで身につけたスキル、能力、知識を増強する。 * 書く前の準備や書いてからの推敲について学ぶ。 * クラスメートの文を読んで適切なフィードバックを与える。 * 大学図書館やインターネットなどを活用してリサーチをし、盗用に注意したうえで、リサーチしたものを基にレポート作成にあたる。 * 自己評価のスキルを身につける。 * カリキュラム作成に参加する。 <p>3. 前学期に引き続き、批判的思考に必要な基本的なスキルを身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> * 批判的な読み方（クリティカル・リーディング）を身につける。 <p>（例：テキストの内容を分析する、 しっかりした根拠に基づいているかどうかを判断する、</p>
--

電気通信大学 平成20年度シラバス

偏った考え方に基づいて書かれていないかどうかを判断する)

- * テキストを読み、批判的な立場から反論する文章を書く。
- * 第三者的立場から論じる文章を書く。
- * リサーチの方法を身につけ、主張の裏づけに活用する。
- * データを基に根拠のある結論を導く。

【前もって履修しておくべき科目】

なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

なし。

【教科書等】

教科書：『Writing Updates』 金星堂 1800円(税別)

【授業内容とその進め方】

学生諸君には、授業中にテキストの英文を読んで訳したり、問題を解いたり、英作文をしてもらう。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績(100%)=平常点(25~30%)+テスト(70~75%)となる。
平常点の大部分は出席点となっており、1回の出席が2点、遅刻、早退は1点となる。
詳細は最初の授業で説明する。

【オフィスアワー：授業相談】

土曜日 12:30~13:00、14:30~14:40、講師室。

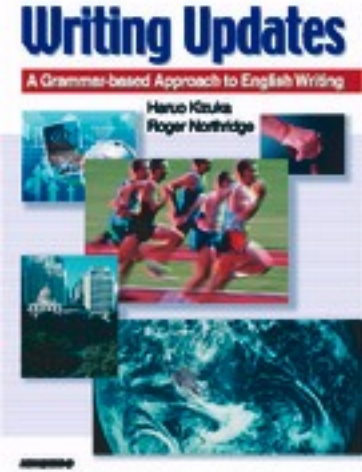
【学生へのメッセージ】

英語力を伸ばしたいと望む学生諸君は多いが、週2回ほどの授業を受けているだけでは、たとえ才能があっても英語力が伸びることはない。
自分で真剣に取り込むことが必要である。
出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。
授業中の私語が多過ぎたり、眠る者が過ぎる場合は座席指定にする。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】

下の画像は、授業で使用するテキストの表紙である。

関連図1	関連図2
	<p>No Image</p>